

第 2 回入札監視委員会会議録

1. 開催日時 平成 28 年 1 月 4 日（金）
午後 2 時 0 0 分～午後 3 時 4 0 分
2. 開催場所 高浜市役所 4 階 第 5 会議室
3. 出席委員 委 員 児 玉 善 郎（大学教授）
 委 員 丹 羽 重 則（元市収入役）
 委 員 奥 野 暁（土地家屋調査士）
 委 員 中 原 弘 道（元県職員）
4. 事務局職員 内田総務部長、岡島グループリーダー、杉浦主幹、中根主査、
 桑山主事
5. 議事概要

（1）あいさつ

（2）平成 28 年度 中期入札案件の検討について

（3）その他

予定価格事後公表試行案件の入札結果状況の報告

平成 28 年度中期検討入札案件	16 件
内 指名競争入札案件	3 件
条件付一般競争入札案件	13 件

主な質疑・回答

質問・意見	回 答
<p>1. 高落札率案件</p> <p>①高浜中学校南校舎北面・西階段防水塗装工事 (建築一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○設計額を組むときに、県の歩掛表を見て市職員が積算しているとのことですがそれは業者も見られるようになっていきますか。</p> <p>○市と業者で同じものを見て積算すれば</p>	<p>○県の歩掛表は公表されています。各業者は下請の見積り額とか自分のところでは経費がいくらでできるか等を計算して積算した額を出して、自社経費を勘案して出しているのが現状だと思います。</p> <p>○県の歩掛はある程度規模の大きな工事</p>

<p>だいたい近い数字になるだろうから、落札率は高止まり傾向になるだろうと思って質問しました。</p> <p>○この案件は、市職員が県の歩掛を基に計算して予定価格をたてているのか、それとも業者見積りで予定価格をたてているのか、どちらですか。</p> <p>○業者もある程度、予算額は想定できるということですか。</p> <p>○予算見積りは何者から取りましたか。</p> <p>○業者が積算する時に変わるところは諸経費ぐらいになるかと思いますが、これは設計金額に対して、どれぐらいの比重がありますか。</p> <p>○諸経費の幅が狭くなっているということは、入札額は高めになる傾向にあるということですか。</p>	<p>を想定していますので、本市のような小さな金額の工事が多い場合、そのままの数字を入れると金額が安くなり過ぎる可能性があります。一方で予定価格の設定は、予算査定で厳しく精査しているのので、入札の段階では落札率が高くなる傾向はあると思います。</p> <p>○予算を組む際には業者に見積りを取りまして、それを参考にして後は担当者が設計して予算計上しています。</p> <p>○あくまで参考見積りとして、いただいています。</p> <p>○参考見積りということで1者から取り、その後、市の職員が県の人件費等を見て積算して予定価格としました。</p> <p>○その会社内で基準があると思います。県の単価ですと金額と工種に応じて何パーセントと決まっています。</p> <p>○設計額と予算額ですが、監督員によりますが、予算額に近い設計金額を諸経費で調整している部分があると思います。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、予定価格の設定が予算査定の時点で厳しく精査されており、応札業者数も限られていることから高落札率となっていると判断した。</p>	
<p>2. 高落札率案件</p> <p>②高浜市商工会移転改修工事</p> <p>【予定価格事後公表案件】</p> <p>(建築一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○予定価格を立てるのに、見積りを取りましたか。</p>	<p>○取りました。</p>

<p>○設計金額は誰が算出したのですか。</p> <p>○建築工事業者に見積もりを頼むことで、その業者が落札することにつながりやすくなります。それよりは、費用が発生しますが、設計を外部委託したほうがいいのではないのですか。</p> <p>○今回の案件に限らない話ですが、職員が積算をするのはなかなか大変なので、外部委託にして予算見積りを取る時に入札対象業者以外の工事業者に積算を頼めればいいのですが。これは可能性として、できることですか。</p> <p>○見積りを取る業者には何か決まりはあるのですか。</p>	<p>○建築士の資格を持った職員が行いました。</p> <p>○設計のできる職員が限られていますので、金額の大きな工事については外部委託で設計していますが、少額なものは業者に見積りをもらい、それを基に設計を組む場合があります。</p> <p>○理想的にはそうですが、現実的には厳しいです。</p> <p>○特にありません。</p>
---	---

【審議結果】

本案件は、予定価格の金額算定の段階でシビアな価格となっていることから、高落札率になったと判断された。設計を外部委託するなどの方法を検討する余地があるのではという意見が出た。

3. 高落札率案件 【一括検討】
(土木一式工事：条件付き一般競争入札)
- ③ 公共下水道整備工事 港第2処理分区 (28-4工区)
 - ④ 公共下水道整備工事 浜第1処理分区 (28-3工区)
 - ⑤ 公共下水道整備工事 論地処理分区 (28-2工区)
 - ⑥ 公共下水道整備工事 中部第1処理分区 (28-8工区)
 - ⑦ 公共下水道整備工事 論地処理分区 (28-5工区)
 - ⑧ 公共下水道整備工事 中部第1処理分区 (28-7工区)
 - ⑨ 公共下水道整備工事 中部第1処理分区 (28-6工区)

<p>⑩ 公共下水道整備工事 論地処理分区 (28-1工区)</p> <p>⑪ 公共下水道整備工事 論地処理分区 (28-9工区)</p> <p>○応札可能な業者は7者、または9者という案件だが、応札する業者はいつも4者である。これはなぜですか。</p> <p>○造園業者では難しい工事なのですか。</p> <p>○落札業者は、ほぼ偏っているので市外の業者も入れた方がいいのではないか。市内業者に限っているのはなぜですか。</p> <p>○結果を見ると不利益な感じがします。</p> <p>○準市内業者は造園業者なのですか。</p> <p>○そこが応札してくれれば、競争性が高くなるが、一方では市内業者を育成しておかないと災害時にライフラインの復旧に支障をきたすこともあるでしょうから、ある程度は市内業者を優先しないといけないとも思います。</p> <p>○市内業者のうち、応札をあまりしなくなった業者は、市の仕事は今も請け負っていますか。</p>	<p>○応札がないのは、造園業者と小規模事業者と、市外に本社があり高浜市内に営業所のある業者です。小規模事業者については技術者が少ないので、常に応札するのは難しいかと思います。</p> <p>○土木工事を行う資格は持っています。ただ公園の造園や道路の植栽工事があれば、そちらを優先して行っています。</p> <p>○年度末の入札参加者等審査委員会で、翌年度の入札の参加資格要件を諮って決めています。金額要件や地域性の条件を決めています。</p> <p>○市内団体からは市内業者を優先してほしいと言う要望があり、また災害時の対策などでは地元業者を頼りにしたい面もありますので、予定価格で市内業者のみ参加という条件もあります。</p> <p>○土木工事等の総合的な業者です。</p> <p>○どこで線を引くかは市としても悩ましいところです。</p> <p>○請け負っています。</p>
--	--

<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、応札業者が固定化していることが、競争性の低下に繋がり高落札率となっているのではないかと、という意見が出た。一方では市内業者の育成や災害時の対策等で頼りたい面もあり、応札可能業者が少ない中でもいかに競争性を担保するかが、今後の課題であることを確認した。</p>	
<p>4. 高落札率案件 2件 その1</p> <p>⑫二池町調整池浚渫工事 (土木一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○資料の設計金額と予算額に大きな差があるのはなぜですか。</p> <p>○その中で二池町の調整池の分の予算はいくらですか。</p> <p>○それでも設計金額とは、ずいぶん開きがありますか。</p>	<p>○予算額はこの他に排水場や、八反田調整池の浚渫工事を含んでいます。</p> <p>○2, 000万円です。</p> <p>○当初はバキューム車による吸引工法を予定していましたが、現場状況から鉄板を敷いて大型重機による土砂を搬出する工法へ変更したため、当初見込みより減りました。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件で、予定価格と設計金額に大きな開きがあったのは、工法変更により設計金額が下がったことによるものであると判断した。</p>	
<p>高落札率案件 その2</p> <p>⑬道路改良工事 市道呉竹高平線 【予定価格事後公表案件】 (土木一式工事：条件付き一般競争入札)</p> <p>○これはどう予定価格を設定しましたか。</p> <p>○入札結果を見ると、落札業者と2番札の業者以外は予定価格を上まわっていますね。</p> <p>○この工事の落札業者は、先ほどまでの</p>	<p>○県から公表されている歩掛表を基に職員が設計しています。業者もそれで積算しますので、応札価格も設計金額に近い金額となるかと思います。</p> <p>○予定価格事後公表試行案件ですので、こういうことがあります。</p> <p>○具体的なことはわかりませんが、工事</p>

<p>工事では応札がなかったが、この入札には参加している。これはこの工事なら施工できると業者が選んでいるからですか。</p>	<p>内容やその期間から、技術者を配置できると判断して応札していると思います。</p>
<p>【審議結果】 本案件は、設計金額が比較的小規模な工事で、僅差での競り合いとなったために高落札率になったと判断した。</p>	
<p>5. 低落札率案件 ⑭印刷機（3台） （物品：指名競争入札）</p> <p>○見積りはどこから取りましたか。</p> <p>○落札業者の見積り価格はいくらでしたか。</p> <p>○2番札の業者まではその価格以下での応札なので落札業者が頑張ったということですね。落札業者がこれだけ価格を下げられた理由はなぜだと考えられますか。</p> <p>○リースではないので、アフターケアの面で費用が発生するということはありませんか。</p>	<p>○落札業者と3番札の業者です。</p> <p>○1台あたり350,000円でした。</p> <p>○技術革新等で、すぐに後継機種が出ますので、競争の結果このような結果になったと思われます。</p> <p>○特別に費用が発生するとか、アフターケアがないということはありません。</p>
<p>【審議結果】 本案件は、事務用機械の競争が激しく業者間の競争性が発揮されて、低落札率になったと判断した。</p>	
<p>6. 高落札率案件 2件 その1 ⑮手動式油圧コンビツール （物品：指名競争入札）</p> <p>○特殊な物品のようだが、見積り自体はカタログを見ればどの業者も出せるものなのですか。</p>	<p>○出せます。メーカーからの卸値がいくらで卸せるか、という事と業者さんの儲けを見込んでの金額になるかと思えます。</p>

<p>○予算見積りを取った時に一番安かったのが、落札業者ですか。</p> <p>○この物品のメーカーは、どういったメーカーになりますか。</p> <p>○特殊な物品なので、それほど卸し価格が下げられないということが、結果として表れている面がありますか。</p>	<p>○いいえ。その時に一番安かったのは2番札の業者でした。</p> <p>○防災用品を主に扱うメーカーで、当該品が使いやすいので、選定しました。</p> <p>○東日本大震災以降、ニーズも多く需要が多いということもあると思います。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、特殊な物品でありそれほど卸し価格が下げられる物品ではないため、結果的に高落札率となったと判断した。</p>	
<p>高落札率案件 その2</p> <p>⑩防災備蓄倉庫 (物品：指名競争入札)</p> <p>○仕様で「東海特装車製」等となっていますが、これにした理由は何ですか。</p> <p>○この案件は、見積りは何社から取りましたか。</p> <p>○2番札の業者はいくらで見積り書を出してきましたか。</p> <p>○1者、無効（未受領）となっていますが、この理由は確認していますか。</p>	<p>○倉庫の大きさを考慮しまして既製品の中ではこのメーカーのものが一番適切と判断し、選定しました。</p> <p>○落札業者と2番札の業者から取りました。</p> <p>○応札額と同じ価格だったと思います。</p> <p>○その頃にパソコンの不具合があり、入札システムの確認が遅くなって応札に間に合わなかったとのことでした。</p>
<p>【審議結果】</p> <p>本案件は、特殊な物品であり、卸し価格があまり下げられないため、結果的に高落札率となったと判断した。</p>	
<p>7. 予定価格事後公表試行案件の入札結果状況についての報告</p> <p>事務局より、今年度現在3件の試行を実施したのでその報告。</p> <p>①高浜市商工会移転改修工事</p> <p>予定価格 11,104,500円</p> <p>落札金額 11,100,000円</p>	

<p>落札率 99.96%</p> <p>②道路改良工事 市道呉竹高平線 予定価格4,591,000円 落札金額4,500,000円 落札率 98.02%</p> <p>③道路修繕工事 市道葭池線 予定価格9,612,000円 1回目入札不調 最低応札額9,800,000円 2回目落札金額9,450,000円 落札率 98.31%</p> <p>○③の案件は、1回目の入札で不調になった時は再入札の時はある程度金額を伝える等しますか。</p> <p>○③の案件は予定価格は業者見積りではなく、職員が積算したものですか。</p> <p>○設計を外部委託したものでも、職員が積算したものでも業者は設計書を閲覧できますか。</p> <p>○積算価格にそれほど差は出ないとすると、落札するために業者が応札額を下げるとすると、どのあたりの費用になりますか。</p> <p>○市も予定価格を絞っているのに、業者側としては、応札額を下げるのが厳しい状況になっているということですか。</p> <p>○労務賃金を安くして、応札額を下げるという方法はないのか。</p>	<p>○再入札通知文に1回目の応札の最低額の金額を入れて通知します。</p> <p>○担当グループに確認していませんので、はっきりとはしません。舗装修繕工事ですので、職員が県の歩掛表で積算して予定価格を設定していると思います。</p> <p>○閲覧できます。</p> <p>○諸経費とか仮設工事費あたりになるかと思います。</p> <p>○あとは、仕入れ資材を自分のところの代理店メーカーを通じてどれだけ安く仕入れることができるかによって、いくらか下げられるといった程度だと思います。</p> <p>○今は建設業界自体が人手不足なので、それでは人員確保が難しいと思われます。</p>
--	---

【審議結果】

予定価格事後公表をすることで落札率の低下を期待したが、中期までに実施した試行案件3件は、落札率に変化は見られなかった。今年度残りの試行案件の結果を待って第3回の入札監視委員会でさらに審議することとした。